

国際花火競技会—日本、マカオ、ダナンの事例—

International Fireworks Competition - Case of 'Sky Concert' (Japan), Macou and Danang -

冨木 一馬*

SAEKI Kazuma

要約 世界中から観覧者を誘客するモンリオール国際花火大会・ハノーファー国際花火競技会・マカオ国際花火コンテストの三大花火競技会を参考に、近年世界各地で国際花火競技会もしくは国際花火大会が開催されている。かつては日本でも1997年から2004年までの7回(2003年は中止)横浜市の八景島シーパラダイスにおいて「スカイコンサート」と銘打った国際花火大会が実施されていた。しかし景気の悪化と不慮の事故から中止に追い込まれ、その後休止になっている。一方、海外の大規模な国際花火競技会には、日本の業者も含む海外からのチームも参加し、多くの観客が集まっている。今回は、1989年に始まったマカオ国際花火コンテストと、2008年から始まったダナン国際花火大会の2事例について、主催者の考え方や運営方法、経済効果や誘客効果を考察する。

キーワード:国際花火競技会(International Fireworks Competition)、スカイコンサート(Sky Concert)、マカオ(Macao)、ダナン(Danang)

1. はじめに

国際花火競技会は世界中から腕自慢の花火師が集まり技術を競うものである。世界三大花火競技会のなかでも歴史が最も古く権威のあるモンリオール国際花火大会(L'International des Feux Loto-Québec)は今から45年前の1974年から始められた。次いでマカオ国際花火コンテスト(Macao International Fireworks Display Contest)が1989年、ハノーファー国際花火競技会(International Fireworks Competition Hannover)が1991年からスタートした。これらの三大花火競技会以外にも、フィリピン国際音楽花火競技会(The Philippine International Pyromusical Competition)、モナコ国際花火大会(Concours International de Feux d'Artifice Monaco)、タラゴナ国際花火コンテスト(Concurso internacional de fuegos artificiales Tarragona)、パタヤ国際花火大会(Pattaya International Fireworks Festival)、ダナン国際花火大会(Danang International Fireworks Festival)、マルタ国際花火大会(Malta International Fireworks Festival)など、複数の競技大会が存在する。



第1図:パタヤでも露店がある。(著者撮影)



第2図:ワチラロンコン国王と花火(パタヤ)

*大阪観光大学観光学研究所学外研究員

(1) 研究の背景

国際花火競技会もしくは国際花火大会は今や世界各地、少なくとも20カ所近く開催されている。それらは全てがインバウンドや誘客に結びついているかといえばそうではない。少なくともインバウンドに結び付けるには海外に向けてPRをしなくてはならない。そして大会の内容や素晴らしさを伝え認知度を図る他に手立てはない。ここでは複数の国際花火競技会を紹介しながら各国の主催者の考え方やどのような取り組みを行っているのか、また運営方法やプロモーション、問題点など様々な角度から検証する。

(2) 研究の目的

花火大会は、日本では数万人から数十万人集まる人気のイベントであるが、日本の業者が国際大会などに参加した場合、応援に駆け付ける話は聞いたことがない。日本人にとって海外旅行（外国）は島国という特殊な地域、また独特な言葉の問題など非常に遠い存在である。しかし西欧では、外国とはいえ地繋がりで言葉も異なるが言語が非常に似ていて何となく理解できるようで、外国旅行に向けて立ち足る壁が少ない。以前にベトナムのダナンで開催された国際花火競技会ではフランスから来た多くの応援団と機内で一緒になった。フランス本土では日本ほど花火は盛んではないのだが、代表として世界へ飛び立つ時には国民が注目して駆けつける。国際花火競技会を観光産業のひとつのアイテムとして位置づけ、その経済効果や誘客効果を検証し、国際花火競技会を通じて、どうしたらもっと多くの人々に旅行の楽しさを知って頂けるか、どのようにインバウンドに結び付けられるかを考察する。

2. 日本の競技会

(1) 歴史的な展開

日本において最も歴史ある競技会は明治22年の第56回神宮式年遷宮を祝して奉祝競技花火大会として始めた「伊勢神宮奉納全国花火大会」で、その後中断・再開を繰り返し昭和28年の第59回神宮式年遷宮記念から続けられている。現在では行われていないが「宝塚川開き・全国煙火競技大会」も大正2年からと古く昭和13年の阪神大水害を最後に中止になっている。明治43年、秋田県大曲町にあった諏訪神社の祭りの余興として始められたのが「奥羽六県煙火共進会」で大正4年に「全国花火競技大会」として名称を変更して続けられている。

戦後は昭和21年から始められた「土浦全国花火競技大会」、昭和36年からスターメイン競技会を入れた「諏訪湖祭湖上花火大会」他に「赤川花火大会」「全国選抜長良川中日花火大会」「やつしろ全国花火競技大会」「全国煙火競技大会」「ふくろい遠州の花火」など競技会增加傾向にある。理由の第一としては他との差別化がある。しかし、これらに参加する業者はほとんどが同じで様々な縛りがあり、参加したくても出場できない煙火業者が多い。また当初は低予算で大会運営ができることから始めるところが多かったが、大会全体の競争の激化により年々、運営予算は増加している。しかしながら競技会という目玉から観客も増加しており枚数や有料席の販売が好調なことから運営に支障は出ていない。

(2) 競技会の相異

日本と海外の競技では大きく内容が異なる。日本の花火は世界一の芸術品と呼ばれ八重芯（芯が二重のもの）や三重芯（芯が三重のもの）、近年では四重芯や五重芯など複雑化して進化しており、これらの技術を競うため一般的には一発の芸術性を検証する「割物」（わりもの）花火の部門と連続で打ち上げる「スターメイン」がある。スターメインは主催者の趣旨によ

て「創造花火」や「デザイン花火」など名称が異なる場合もあるが、いずれもBGMを使用するケースが多い。

スターマインは音楽を使用するが、音楽にリンクして上げるわけではなく、あくまでもタイトルのイメージとして使用されるケースが多い。国際競技会においては各主催者で毎年同じ、もしくは年ごとのテーマによって選曲され、それに合わせて打ち上げることによって演出全体の技術や芸術を競うことが多い。時間は20分から25分程度で、主催者から指定の曲が一曲もしくは二曲あり、それ以外は自由になっている。同じ曲を使用することで参加業者の違いを明確にすることができる。

(3) スカイコンサート

スカイコンサート (SKY CONCERT) は過去に日本で開催されていた国際花火競技会で、神奈川県横浜市にある八景島シーパラダイスを会場にして1997年から2004年までの7回(2003年は中止)に渡り開催された。報道資料1によれば正式名称は「Coca-Cola SKY CONCERT『世界の花火ショー』」で、第2回大会から『～世界の花火グランプリ～』に変更されている。大まかな当時のプレスリリースは、次ページの資料1の通りである。

スカイコンサートはコンピューターを使った打ち上げの日本では初期の大会であった。点火器はパイロデジタルコンサルタント社製を使い、コンピューターで曲に合わせて30分の1秒単位でプログラムできる最先端の打ち上げシステムである。当時、日本で導入していたのは日本橋の丸玉屋のみで、スカイコンサートでは初回のアメリカが花火を斜めに打ち上げることを日本で初めて行った。ここに同席していた行政の担当者が花火が斜めに上がったことから筒が倒れたと勘違いして、すぐに中止を要請したことで逸話にもなっている。とにかく世界最高の打ち上げ技術を見た日本人は驚いたに違いない。また音楽に合わせて花火を打上げるという発想自体が斬新であった。打ち上げには、チェイスやV字クロス、スクランブルフューチャーなど様々な手法が使われた。またフリッカー(点滅トーチ)やマインなどのパイロと呼ばれる特殊効果花火、イタリアの「スピン」やアメリカの「コメット」、スペインの「ジェランドラス」など世界中の花火が夜空を彩った。

それまでの日本の競技会と異なるのは審査員を一般から募集したことにある。日本では火薬関係者が一人、他は地元の名士たちと行政のトップ、実行委員長や観光協会・商工会議所・青年会議所・議員など約10名で構成される。しかしスカイコンサートでは花火をほとんど知らない一般人から構成され、個人の主観で投票し順位が決められたことは観客参加型の大会として非常に新しい手法であるといえる。

有料席は初回から設けている。ウォーターフロント席として1,336席が(前売り900円、当日1,000円)、マリーナエリアは3,900人(前売り450円、当日500円)が設けられた。

2年目の1998年にはウォーターフロント席が大幅に増加して4,600席となり、そこにSS席、S席、A席が設けられた。価格は、SS席が前売り2,000円、当日2,500円、S席が前売り1,500円、当日2,000円、A席が前売り1,000円、当日1,500円となった。マリーナエリア席は少し減少して3,000人で、前売りが500円、当日が700円であった。1999年も同様になっている。チケットの販売は97年がチケットセゾン、JR東日本、ローソンチケット、横浜・八景島シーパラダイスで98年はチケットぴあ、CNプレイガイド、JR東海、京浜急行線各駅と拡大し、SS席のみは扱いが横浜・八景島シーパラダイスのみとなっている。

2000年にはエリアという区画分けがなくなり、SS席が前売り2,000円、当日2,500円、S

資料1：スカイコンサート プレスリリース 概要

日本初の「世界の花火ショー」をシーパラダイスで!! 「音楽に合わせて、花火が舞う」この美しく感動的なショーは、 10月18日(土)から始まります。

『横浜・八景島シーパラダイス』では、日本で初めて、今までにない音楽と花火が一体になった大規模で本格的な「Coca-Cola SKY CONCERT 世界の花火ショー」を開催いたします。

「世界の花火ショー」では、アメリカ[10月18日(土)]、オーストラリア[10月25日(土)]、フランス[11月1日(土)]、日本[11月8日(土)]の各国を代表する花火師が、この日のためにデザインした創作花火を、コンピューターにより花火と音楽が一体となった大スペクタクルとして繰り広げます。

花火ショーは、特別観覧席(有料)のほか、立見(無料)でもご覧いただけます。

また審査員を一般募集し、審査の結果特に優れた花火に対し、グランプリを授与いたします。まさに一般市民が参加する(選ぶ)世界の花火コンテストと言えるものです。

日本初の「世界の花火ショー」をシーパラダイスで!!

夜空に鮮やかに咲く、大輪の花火。それは、驚きと感動に満ちたパフォーマンスです。

花火の美しさや文化を育んできたのは、日本ばかりではありません。ヨーロッパにおいては、庭園を美しく彩る「庭園花火」として発達しました。アメリカでは、独立記念日に全米各地で打ち上げたり、最近では「アトランタ五輪」において、盛大な花火ショーを実施するなど国民性を反映した陽気で華やかなショーとして発展しています。

このように、独自の歴史と文化に培われた世界各国の花火を、日本で本格的に紹介する機会が今までありませんでした。そこで、日本の花火とはひと味違った色や形をした、華やかな花火パフォーマンスをこの秋『横浜・八景島シーパラダイス』で『Coca-Cola SKY CONCERT 《世界の花火ショー》』として実施することになりました。

海外では、「フランス・カンヌの世界の花火コンテスト」「スペイン・バレンシアの世界の花火ショー」「オランダ・アムステルダムの世界の花火ショー」「マカオの世界の花火競技会」などをはじめ、各国で世界の花火を集めたイベントが開かれ、盛況を博しています。特に1985年以来、カナダのモントリオール市で開かれている「世界の花火コンペティション」は、大人気を呼んでいます。各国を代表する花火師が来日し、シーパラダイスの夜空にその美しさと技でグランプリを競い合う、一大スペクタクルショー『Coca-Cola SKY CONCERT 《世界の花火ショー》』をぜひお楽しみください。

「Coca-Cola SKY CONCERT 世界の花火ショー」

実施日： ☆10月18日(土) アメリカ
☆10月25日(土) オーストラリア
☆11月1日(土) フランス
☆11月8日(土) 日本

ショー時間：プレショー 19:00～19:30
花火ショー 19:30～20:00

ショー形式：競技会(日本を除く)
(一般募集した市民審査員による審査)

打上場所：横浜・八景島 防波堤

観覧会場：横浜・八景島シーパラダイス

○特別観覧席
ウォーターフロント 1336席(ブロック席)
前売：900円 当日：1000円
マリーナエリア 3900人
前売：450円 当日：500円

無料立見でもご覧いただけます。

観覧チケット：チケットセゾン、JR 東日本、ローソンチケット

取扱店：横浜・八景島シーパラダイス
9月8日(月)から前売り開始

主催：横浜・八景島催事実行委員会

後援：横浜市 アメリカ大使館 オーストラリア大使館 フランス大使館文化部

協賛：富士コカ・コーラボトリング株式会社 全日空 富士写真フィルム株式会社 株式会社ミリオンカードサービス 日本テレコム株式会社

参加国

◎10月18日(土) アメリカ パイロスベキュラーズ社
昨年のアトランタオリンピック開・閉会式の盛大な花火ショーでのプロデュースや独立記念日式典での花火などを手がけるなどパイロスベキュラーズ社は米国花火業界を代表する存在です。

◎10月25日(土) オーストラリア
オーストラリアンパイロテクニクス社
オーストラリアの主要な花火イベント(オーストラリアディ他)を手がけるオーストラリアンパイロテクニクス社は、今世紀最大の出来事といわれた本年7月1日の香港の中国引渡し式典でのメインイベントの花火ショーを担当しました。

◎11月1日(土) フランス ルジェリ社
「庭園花火」として独自の伝統と文化を持つフランスを代表するルジェリ社は他の国ではまねのできないアーティスティックなショーを得意としている。また、本国のみならず世界で最も伝統のある花火会社として知られている。

◎11月8日(土) 日本 丸玉屋
日本の芸術花火を世界に紹介してきた花火会社・丸玉屋は世界各地の花火コンテストで優勝するなどいわば国際派の花火会社。横浜・八景島シーパラダイスの年間花火ショー「花火ファンタジア」も手掛けるなど、最先端技術の花火ショーにも力を注いでいる。

「Coca-Cola SKY CONCERT 世界の花火ショー」審査員募集!!

「Coca-Cola SKY CONCERT 世界の花火ショー」は、各国を代表する花火師が、創作花火で美しさを競い合う競技会(コンペティション)方式で実施され、審査員の採点により最優秀作品(グランプリ)を決定いたします。その審査員を一般市民より募集いたします。

《審査員募集要項》

資格：

10/18(土) アメリカ 10/25(土) オーストラリア
11/1(土) フランス 11/8(土) 日本(表彰式)

上記の4日間すべてご覧いただくことが可能な18才以上の方

募集人数：10名

締切り：平成9年9月30日(火) ※当日消印有効

応募方法：官製はがきにて、住所・氏名・年齢・性別・職業・電話番号を明記の上、下記宛に応募ください。

〒236 横浜市金沢区八景島
横浜・八景島シーパラダイス 営業部企画課
「スカイコンサート審査員募集」係

お問合わせ：横浜・八景島シーパラダイス ☎045-788-8888

※応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。
審査員に選ばれた方には、当方より連絡いたします。

◎審査員の方には、規定の交通費・お弁当、さらにシーパラダイスのアクアミュージアムと乗り物券をプレゼントいたします。

席が前売り 1,500 円、当日 2,000 円、A 席が前売り 1,000 円、当日 1,500 円となった。2001 年には SS 席が廃止され、S 席が前売り 2,000 円、当日 2,500 円で、A 席が前売り 1,500 円、当日 2,000 円となった。2002 年も同様である。2004 年になると全ての区分けがなくなり、観覧席として前売り 2,000 円、当日 2,500 円に変更されている。

後援には各出場国の大使館や地元の観光協会ほか、協賛は 1997 年が富士コカ・コーラボトリング株式会社、全日空、富士写真フィルム株式会社、株式会社ミリオンカードサービス、日本テレコム株式会社で、1998 年が全日空が特別協力になり、日本テレコムが外れた。これ以外の 3 社に株式会社キャリアスタッフ、NEC インターチャネル株式会社加わりバブルの終焉でありながら増えている。当時、筆者が広告代理店に取材した中では集客のため全国的にイベントが増えており、中でも老若男女が楽しめる花火大会や花火を扱うイベントが増加傾向にあるとの情報を得た。この頃から全国で花火大会や花火を扱うイベントが増加、花火業界はバブルの終焉にも関わらず利益は右上がりをたどった。

1999 年には富士コカ・コーラボトリング株式会社、株式会社ミリオンカード、富士写真フィルム株式会社に同じく特別協力として全日空が入っている。こちらも筆者の取材では海外から参加の花火業者のエアのチケットを全日空が請け負っていると聞いている。この年から制作として横浜・八景島シーパラダイスと株式会社丸玉屋の名前が明記されている。

2000 年は富士コカ・コーラボトリングが外れ株式会社ソシエ・ワールドに代わり、2001 年には株式会社ソシエ・ワールドが外れ株式会社角川書店に交代している。当時、全国のウォーカーシリーズは情報誌業界の中でも群を抜いており特に花火特集は一年で最も売れる号であり攻勢をかけたと考察する。2003 年は理由は不明だが、開催されていない。

2004 年は富士コカ・コーラボトリング株式会社と富士写真フィルム株式会社の 2 社体制になり特別協力の全日空もなくなり最後の開催となる。筆者の記憶では、この年の初回のスペインが台風の高波の影響で防波堤に準備をしていた花火筒が流されてしまうという不慮の事故があった。また 10 月 23 日のポルトガルの打ち上げでは中越地震があり、会場である横浜・八景島でもスタート直前に揺れたことを記憶している。このような事象も踏まえて花火大会の開催は非常にリスクを伴ったところにスポンサーの減少も重なったことから休止に追い込まれたと筆者は考察する。

3. 国際花火競技会

(1) マカオ国際花火コンテスト

マカオ国際花火コンテストは、マカオ政府観光局 (MGTO) が毎年 9 月中旬の秋祭りと 10 月 1 日の中国の祝日に合わせて開催している花火のコンペティションで、世界三大花火競技会のひとつに数えられる。初回の 1989 年から 1994 年までは世界から 5 カ国、現在は通常一日 2 カ国、計 5 日間の 10 カ国で競われた。2019 年はマカオ返還 20 周年と花火コンテスト開催 30 回の記念大会で、例年より一日多い 6 日間、計 12 カ国で争われ、日本の丸玉屋小勝煙火店が優勝した。2 位は中国の瀏陽市新年限火貿易有限公司、3 位はフランスの SAS BREZAC Artifices である。

これまでの参加国の内訳を見ると、地元中国が 34 回。これは 1 開催で 2 つのチームが出場する場合があります、開催回数より多くなっている。次がポルトガルで 30 回、開催が返還される以前から始まったので、ある意味初期の頃はポルトガルも主催者と考えられる。次が日本で

24回、台湾21回、韓国20回、オーストラリアとフランスが19回、イギリスとフィリピンが16回、イタリア12回、タイ11回、ドイツ10回、スペイン8回、スイス7回、アメリカとカナダが5回、オーストリア4回、南アフリカとマレーシアにルーマニアが2回、ポーランドにクロアチア・ベルギー・フィンランドが1回である。

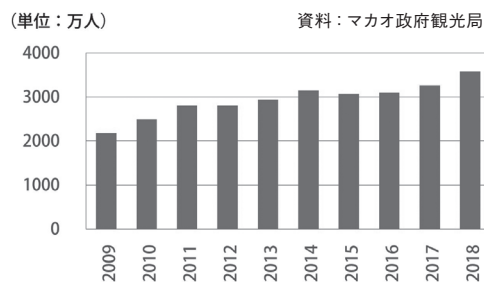
これまでの成績は、次ページの第1表の通りである。

審査員は政府の文化局や教育局・海水局・マカオ工科大学・マカオ日刊ニュース誌・マカオ写真協会ほかからの代表が行っている。2018年を例にすると、澳門攝影學會から黄碧茜氏、華僑報から郭寶珈氏、澳門海事及水務局から李志焯氏、廣告製作公司から馬志達氏、澳門沙龍影藝會から鄧少鳳氏、民政總署から歐振榮氏、澳門理工學院から鍾渠盛氏らほか3名である。審査の基準は、花火の独創性や打ち上げの効果、夜空へのデザインや個々の色や形、組み合わせにバランスやリズム、音楽との調和やテーマの表現、また近年から取り入れられたレーザーとの組み合わせなど多岐にわたる。

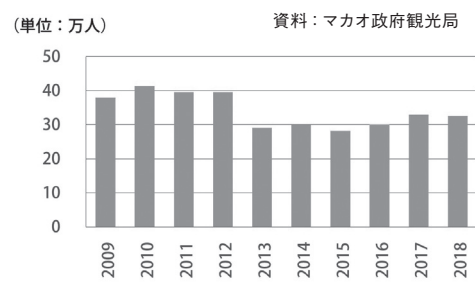
花火のスタートは午後9時である。日本では騒音防止条例などから9時までに終了させなければならないが、不夜城と呼ばれるマカオでは夕食もゆっくりと済ませ、それから本番である。約20分の打ち上げ後、二つ目のスタート9時40分まで時間が空くが、マカオの競技会の厳しい審査の所以である。この時間、一チーム目の筒がチェックされ、不点火で打ち上がっていない玉が見つかり減点に繋がる。ここは日本の競技会と大きく異なる点である。花火が自然に左右されるのはここマカオでも同じで、2017年台風の影響で海岸地域の街が浸水し大会が中止に追い込まれた。筆者はこれまでに9回の取材を行っているが、ゴミのポイ捨ても含むマナーの問題は上がっていない。あくまでも一番の問題は気象条件にあるとされ関係当局と綿密な連絡を取り合い今後も運営する方向である。マカオへの渡航者数は2009年から調査しており、この10年間で1400万人ほど増加している。



第3図：マカオ国際花火コンテスト（著者撮影）



第4図：マカオへの渡航者数



第5図：マカオへの日本人渡航者数

海外に向けてのプロモーションとしてFACE BOOK、Twitter、Instagram、YouTubeなどのSNSを活用した配信にも努めており、マカオ政府観光局は、現在海外14カ国にオフィスを構え観光促進のプロモーションを行っている。

第1表：マカオ国際花火コンテストの成績

年 / 回	1位	2位	3位
1989 / 1st	Hosoya Fireworks Co. Japan	GasPar Fernandes Portugal	Tung Kung China
1990 / 2nd	Guangxi China	Hosoya Fireworks Co. Japan	Gaspar Femandes Portugal
1991 / 3rd	Minhota Portugal	Standard Brock U. K.	Ricardo Caballer Spain
1992 / 4th	Bugano, Swizerland	Liu Yang China	SoU. S. A. & Irmão Portugal
1993 / 5th	Marutamaya Ogatsu Fireworks Co., Ltd. Japan	Hunan China	llumination Internationale U. S. A.
1994 / 6th	Panzeria Italy	The Fireworks Co. U. K.	Gaspar Femandes Portugal
1995 / 7th	Panzeria Italy	Bugano Swizerland	Pyrofefes France
1996 / 8th	Oleirense Portugal	Kaneko Japan	Standard U.K.
1997 / 9th	Caballer Spain	Inter Pirotecnia Portugal	Ikebun Japan
1998 / 10th	Syd Howard Fireworks International Australia	Pyrotechnische Fabrik Oskar Lunig Gemany	Jiangxi Lidu Export Fireworks Factory China
1999 / 11th	Kanto Kako Co., Ltd. Japan	Maverick Fireworks U. K.	Sunny International Fireworks Co., Ltd. China
2000 / 12th	Macedo Pirotecia Portugal	Pyro 2000 Fireworks U. K.	Nico Feuerwerk Germany
2001 / 13th	Hunan Firecracker & Fireworks China	Takagi Fireworks Japan	Jubilee Fireworks U. K.
2002 / 14th	Pyrofel-Pirotecnia, Lda Portugal	Evenement Ciel France	China Hunan Jixiu Fireworks Manufacturing & Display Co., Ltd. China
2003 / 15th	San Tai Fireworks Ind. Co., Ltd. Chinese Taiwan	GJR - Pirotecnia e Explosivos, SA Portuga	FireworX Australia
2004 / 16th	Tamaya Art Pyro Technics Japan	Liuyang Jiding Fireworks Manufacture China	Millennium Pyrotechnics Ltd. U. K.
2005 / 17th	Tamaya Art Pyro Technics Japan	Brezac - Artifices France	San Tai Fireworks Ind. Co., Ltd. Chinese Taiwan
2006 / 18th	Brezac-Artifices France	Pyro Spectaculars by Souza U. S. A.	Foti International Fireworks Pty Ltd. Australia
2007 / 19th	Artifices JCO SA France	San Tai Fireworks Ind. Co., Ltd Chinese Taiwan	San Tai Fireworks Ind. Co., Ltd Chinese Taiwan
2008 / 20th	Brezac Artifices France	Tamaya Art Pyro Technics Japan	Wan Dar Fireworks Mfg. Co., Ltd Chinese Taiwan
2009 / 21th	Tamaya Kitahara Fireworks Co., Ltd. Japan	La Tirena S.A.S. Fireworks Italy	Platinum Fireworks, Inc. Philippines
2010 / 22nd	Tamaya Kitahara Fireworks Co., Ltd. Japan	Panda Fireworks Group Co., Ltd. China	Platinum Fireworks, Inc. Phillippines
2011 / 23rd	Panda Fireworks Group Co., Ltd. China	Tamaya kitahara Fireworks Co., Ltd. Japan	Brezac Artifices France
2012 / 24th	Panda Fireworks Group Co. Ltd. China	Lacroix-Ruggieri France	Infinity Pyrotechnic Australia
2013 / 25th	SAS BREZAC Artifices France	Dancing Fireworks Group, Co., Ltd. China	SUGYP SA Swizerland
2014 / 26th	Hunan Jingtai Fireworks Co., Ltd. China	PIROTECNIA ZARAGOZANA SA Spain	Skylighter Fireworks Pty Ltd. Australia
2015 / 27th	Yung-feng Firecrackers & Fireworks Co. Chinese Taiwan	Dancing Fireworks Group, Co Ltd. China	artEventia France
2016 / 28th	Marutamaya Ogatsu Fireworks Co., Ltd. Japan	Pyro-Technic Transilvania Srl Romania	Feu d'artifice Orion Canada
2018 / 29th	Liuyang New Year Fireworks Trading China	Marutamaya Ogatsu Fireworks Co., Ltd. Japan	Potsdamer Feuerwerk GmbH Germany
2019 / 30th	Marutamaya Ogatsu Fireworks Co., Ltd. Japan	Liuyang New Year Fireworks Trading Co., Ltd. China	SAS BREZAC Artifices France

(2) ダナン国際花火大会

ダナン国際花火大会は、ベトナム中央のダナン市で街の観光のブランド化を進め、多くの観光客を誘客するために2008年から始められたコンペティションで、第1回目を成功したのち前首相のグエン・タン・ズン氏が例年開催することを承認した。初回の2008年は4カ国が参加し、3月27日と28日の2日間開催されている。2009年、2010年も同日で参加国が増え5カ国になっている。2011年から2013年までは4月29日、30日の開催になり15年は一日早く4月28日、29日となっている。2017年から約2カ月間の週末などの開催に変更になっており、参加業者は8カ国に増えた。

2019年度の審査員は、Mr. Le Trung Chinh（ダナン人民委員会副委員長）、Mr. Vi Kien Thanh（文化スポーツ観光省 美術・写真・エキシビション局長・画家）、Mr. Tran Ai Nghia（ベトナム音楽家協会 会員・作曲家）、ほか2名のゲストジャッジ（ベトナム駐在の大使）で、その日ごとに変更。2019年はタイ・南アフリカ・ニュージーランド・チリ・オーストリア・フランスの大使が担当した。審査の基準は概ね以下の通りである。

1. テーマ:オリジナリティ、コンセプトデザイン、展示テーマ
2. クリエンティビティ:色のバラエティ、多様性、彩度
3. 展示スケール:指定されたゾーンにおける空間の使用方法
4. 音楽の選定:展示とシンクロしたサウンドトラック及び音楽
5. ファイナルプレゼンテーション及び展示の品質

なお、これまでの成績は第2表の通りである。

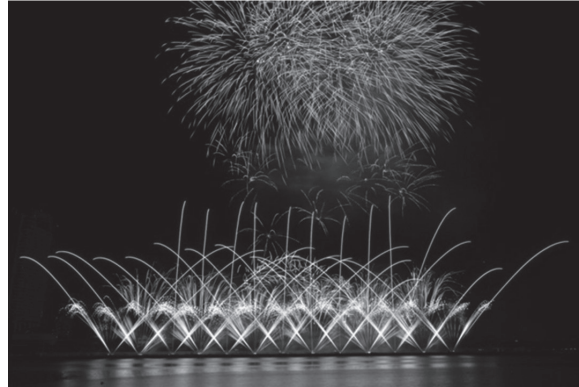
第2表：ダナン国際花火コンテストの成績

年	1位	2位	3位
2008	David Whyall Fireworks Inc. Canada	Pyromagic Productions China	Pyro-Spendour Service Sdn Bhd Malaysia
2009	Liuyang Dancing Fireworks Group China	Zamorano Caballer, SA Spain	Howard & Sons Pyrotechnics Australia
2010	Jacques Couturier Organisation France	Pyrotecnico U. S. A.	Da Nang Fireworks team Viet Nam Tamaya Kitahara Fireworks Co., Ltd. Japan
2011	Parente Fireworks Italy	PANDA China HANWHA Korea	Da Nang Fireworks team Viet Nam JUBILEE United Kingdom
2012	Parente Fireworks Italy	Liuyang Dancing Fireworks Group China Jacques Couturier Organisation France	Da Nang Fireworks team Viet Nam David Whyall Fireworks Inc Canada
2013	Melrose Pyrotechnics U. S. A.	Parente Fireworks Italy Tamaya Kitahara Fireworks Co., Ltd. Japan	Da Nang Fireworks team Viet Nam Fireworks center Khan Russia
2015	Howard & Son Fireworks Australia	Surex Firma Rodzinna Poland	Da Nang Fireworks team Viet Nam Melrose Pyrotechnics U. S. A.
2017	Martarello Italia	Howard & Sons Pyrotechnics Australia	Pyrotex Fireworks U. K.

国際花火大会による経済効果だが、2010年にダナン市を訪れた観光客は前年比33%増の177万人で、外国人観光客は18%増の39万人になった。花火大会では前年比68%増の10万人、年間の売上高は39%増の1兆2390億ドン（約47億6500万円）で大幅に増加した。2011年は企業34社と支援契約を締結し、200億ドン（約7900万円）が賄われた。2017年には観光不動産開発のサングループ（Sun Group）が開催することになった。

2013年より隔年開催が続いたが、本年より毎年開催とすることになった。期間はこれまでの2日間から、4月29日、5月20日、5月27日、6月3日、6月24日の各土曜日の5日間に延長、テーマが「五行山の輝き」で「火星・水星・木星・金星・土星」の5つのプログラ

ムに分けられる。8カ国の参加でベトナム国営テレビ（VTV）で生中継され、他にも多くのイベントが開催される5。ダナン市では200万人の観光客を誘致したいと考えている。5日間に延長されたのは、観光客が2日間に集中してしまいホテルや航空券の予約ができないといった問題が発生したため、会期を延長することで混雑を緩和することになった。しかし2018年の開催が発表されてから市内のホテルの宿泊料



第6図：ダナン国際花火コンテスト（著者撮影）

金は2倍から3倍に高騰している6。期間中の宿泊料は50万～210万VND（約2,400円～9,900円）だが、打ち上げ当日は150万～500万VND（約7,100円～23,700円）となっている。これらの過剰な値上げはダナン市商工局が管理するとコメントをしたうえで、サービスや商品に関する苦情などを受け付けるホットラインを設置している。

2019年の観覧席の価格はステージの正面中央がA1席、正面左右がA2・A3席、ステージの左右がB1・B2席、そして離れた部分がB3・B4席で料金は日程により異なる。

初日（6月1日）と最終日（7月6日）がA1席が250万VND（約12,200円）、A2・A3席が120万VND（約5,800円）、B1・B2席が80万VND（約3,900円）、B3席が60万VND（約2,900円）、B4席は40万VND（約1,950円）になっている。6月8日、15日、22日はA1席が150万VND（約7,300円）、A2・A3席が100万VND（約4,900円）、B1・B2席は60万VND（約2,900円）でB3席が40万VND（約1,950円）B4席が30万VND（約1,460円）となっている7。

今大会での会期中の観光客は前年比15.2%増で93万7076人であった。観光収入は3兆2440億VND（約150億円）とされた。会期中の観光客数は3万8750人で花火観覧船の利用者は5468人で前年の2.5倍になった。宿泊施設の部屋総数は6245室で稼働率は65～70%、4～5星ホテルでは75～85%であった。7万9000枚余り発行されたチケットは5万3000枚が寄贈に使用され売り上げは117億7000万VND（約5,450万円）である8。

ダナン観光局ではFacebookやTwitterを使って、英語・中国語・韓国語でPRに努めている。（現在、日本語も準備中）また国際花火大会もFacebookやYouTubeチャンネルを作っている。

4. まとめ

ここではマカオ（中国）とダナン（ベトナム）の2カ国を例に紹介したが日本のようなたばこやペットボトル、空き缶などのポイ捨ての問題、また観客の多さからの警備上の負担などもないようである。筆者が見る限り、いずれの大会もマナーが良く、観客が押し寄せるといことは感じられない。またマカオ、ダナンどちらの大会も大きな集客力・経済効果を持ち、大会実行委員会がウェブサイトやSNSを用いた広報にも熱心であること、そしていずれね大会も日本の会社が出場し入賞していることは筆者にとっても喜ばしいことである。

花火のある国は世界の半分にも満たないが、この十数年の間に世界中に広がるであろう。ベルリンの壁崩壊や近年ではレバノンで打ち上げられるようになってきた。まさに花火は平和の象徴である。

註

1. 横浜・八景島催事実行委員会 (1997) 「『スカイコンサート』 プレスリリース」
2. 「ダナン：今年も国際花火大会開催、日本も初参加」 2010 年 1 月 28 日、VIETJO ベトナムニュース、URL: <https://www.viet-jo.com/news/tourism/100128032543.htm>(最終アクセス:2020 年 3 月 8 日)
3. 「ダナン、10 年の観光客数は 33% 増の 177 万人」 2011 年 2 月 25 日、VIETJO ベトナムニュース、URL: <https://www.viet-jo.com/news/tourism/110224052232.htm>(最終アクセス:2020 年 3 月 8 日)
4. 「ダナン：国際花火大会に企業が 200 億ドン支援」 2011 年 3 月 16 日、VIETJO ベトナムニュース、URL: <https://www.viet-jo.com/news/event/110315050137.html> (最終アクセス：2020 年 3 月 8 日)
5. 「ダナン：国際花火大会 2017、過去最大規模で 2 か月間の開催に」 2016 年 12 月 9 日、VIETJO ベトナムニュース、URL: <https://www.viet-jo.com/news/tourism/161205054757.html> (最終アクセス:2020 年 3 月 8 日)
6. 「ダナン:国際花火大会が間もなく開幕、ホテル宿泊料高騰」201 年 4 月 23 日、VIETJO ベトナムニュース、URL: <https://www.viet-jo.com/news/economy/180421102335.html> (最終アクセス：2020 年 3 月 8 日)
7. 「ダナン国際花火大会 2019、観覧チケット 30 万 VND から」2019 年 4 月 10 日、VIETJO ベトナムニュース、URL: <https://www.viet-jo.com/news/tourism/190408192852.html> (最終アクセス：2020 年 3 月 8 日)
8. 「ダナン国際花火大会、2019 年の観光収入は 3.2 兆 VND 超」2019 年 9 月 4 日、VIETJO ベトナムニュース、URL: <https://www.viet-jo.com/news/economy/190903123803.html> (最終アクセス：2020 年 3 月 8 日)

参照ウェブサイト

マカオ国際花火コンテスト <https://fireworks.macaotourism.gov.mo/>

ダナン国際花火大会 <http://www.diff.vn/en/>

マカオ政府観光局 (MGTO: Macao government Tourism Office) <https://www.macaotourism.gov.mo/en/>

資料提供

株式会社横浜八景島 | 1997 年当時にヒアリングを行った。

ダナン観光局 (Danang Department of Tourism, Danang People's Committee | <https://danangfantasticity.com/en/>) | 2019 年 8 ~ 10 月にかけて電子メールで問い合わせし、回答いただいた。

ダナン外務局 (Da Nang Department of Foreign Affairs | <https://fad.danang.gov.vn/>) | 2019 年 8 ~ 10 月にかけて電子メールで問い合わせ、回答いただいた。